

技能五輪国際大会誘致に向けた検討会報告書の概要

- 「日本再興戦略2016」（平成28年6月閣議決定）において、技能五輪国際大会の日本への誘致に向けた具体的な方策を検討し、本年度年央までに結論を得ることとされた。
- 平成29年1月に職業能力開発局長（現人材開発統括官）の下、有識者による「技能五輪国際大会誘致に向けた検討会（座長 赤松明 ものづくり大学学長）」を設置し、3回に渡って検討を実施。（第1回：1月19日、第2回：3月24日、第3回：7月27日）
- 第2回検討会では、愛知県が取りまとめた「2023年技能五輪国際大会基本構想」を受け、愛知県にヒアリングを実施。本年4月にワーキンググループを設置し、愛知県の詳細な検証を実施。

2023年国際大会誘致の意義

①日本をレベルアップする

⇒ 国際大会は、若手技能者が己の技を磨き意欲を高める機会であるとともに、企業が人材投資の重要性を再認識する機会。

②日本を発信する

⇒ 歴史的・伝統的な分野からAIやロボット等の最先端分野まで、日本の技術・技能を発信。
⇒ 日本独自の技能に対する価値観・人材育成の取り組みを発信。

③日本を盛り上げる

⇒ ものづくり分野の若者が活躍する姿に、多くの国民が注目することにより、技能に対する社会的な評価を高め、技能尊重の機運を醸成。

愛知県を候補地とする意義

- ・ 愛知県は、ものづくり産業が発展し、技能を尊重し技能を楽しむ地域性あり。技能士の数も日本一であり、技能五輪全国大会でも優れた成績。
- ・ 2019年、2020年の技能五輪国内大会は愛知県で開催予定。国際大会に出場する選手強化の面で有利であり、技能の魅力等を力強く発信することを期待。
- ・ 愛・地球博（2005年）の開催実績もある。

国際大会の開催に関する検証

- ・ 愛知県は、人口や経済規模が国際大会を開催するにふさわしい規模。会場（国際展示場と仮施設を併用）も妥当。
- ・ 開催時期は10～11月が妥当であり、輸送・宿泊インフラに支障はない。
- ・ 愛知県の立地を活かし、独自性のある併催イベント等を提供するとともに、積極的な広報を行うべき。

愛知県や関係労使の協力を前提に、2023年の国際大会を愛知県で開催することを求める。